

令和3年度 第4回横須賀市子ども読書活動推進計画改定検討委員会 会議録

1 日時 令和4年1月21日（金）10：00～10：50

2 場所 横須賀市役所 301会議室

3 出席者

【委員】 伊藤英幸委員、岩間数子委員、金崎敬子委員、河合健治委員、川口香世委員、千錫烈委員、横倉久委員

【事務局】 山口正樹：中央図書館長、藤原敦子：児童図書館長、橘広基：中央図書館係長

【傍聴者】 1名

4 議事

（委員長） （開会に先立ち）傍聴希望者が1名いる。傍聴を許可してよいか。

（異議なし）

（事務局が傍聴者を入室させる）

（事務局） 資料の確認（省略）。委員7名全員出席なので、本委員会は成立する。傍聴者は1名である。会議録作成のために録音することを了承いただきたい。開会にあたり、教育総務部長より挨拶いたします。

（教育総務部長） 挨拶（略）

(1) パブリック・コメント手続の実施結果について

(2) 第4次横須賀市子ども読書活動推進計画（案）について

（委員長） 議事の(1)(2)について、併せて事務局から説明していただきたい。

※事務局が【資料1】「パブリック・コメント手続（意見募集）結果」及び【資料2】「第4次横須賀市子ども読書活動推進計画（案）」の概要を説明。

（事務局） 資料1について。パブリック・コメント手続については、昨年12月10日から、今年1月6日まで実施した。意見の提出者数は2人、意見の件数は9件であった。意見の提出方法は2件とも電子メールである。意見の内訳については、すべて第3章「第4次計画の具体的な取組」に関するものであった。意見の概要及び教育委員会の考え方については、資料のとおりである。パブリック・コメントの実施結果に基づき、修正を加えたのは1点である。資料2の14ページ、第4次計画の取組の体系図のうち、主な事業の小学生・中学生に対する取組の3点目、「児童生徒の読書活動に関わる人材の育成」を18ページ及び19ページの表記に合わせて「～人材の充実」

とする点である。

(委員長) パブリック・コメント手続での意見に対する回答案及び修正を加えた計画案について、質問や意見をいただきたい。

(委員) パブリック・コメント手続の意見3について。この回答案のままだと、市立図書館の見学会を現時点で実施していないと誤解される可能性があるが、事務局の見解を伺いたい。

(事務局) ご指摘の通り、市立図書館では保育園・幼稚園・小学校等を対象とした見学会を実施している。その中で図書館の施設や利用方法について説明をし、図書館利用者カードの作成についてPRしている。学校から事前に依頼を受け、希望者に図書館カードを作成した事例もある。それを踏まえての回答と捉えていただきたい。

(委員長) 確かにそうなのだろうが、このままの回答を見た際に、そこまで理解できないのではないか。事務局が説明した内容を理解できるような修正を回答に加えることは可能か。

(事務局) 可能である。回答に加える内容を検討する。

(委員) 14ページについて「人材の育成」と修正することは理解した。人材の「拡充」と表記することが難しいことも理解したが、モデル事業のまま市民は4年間待っている。先日、市内中学校の学校図書館を活用した授業にサポートとして参加した。学校図書館を活用した授業の実施には学校司書が必要であることを再認識した。次期の計画で人材の「拡充」と表記できないことは理解したが、1週間に1回でもすべての学校に学校司書を配置することを目指してほしい。

(委員長) この委員会の中でも、すべての委員が学校司書の配置と拡充を求めてきたところではある。また、予算的に実現が難しい状況であることも理解している。次期計画の中では「人材の充実」という表現にとどまるが、目指すべき方向性としては事務局もしっかり認識していただければと思う。

(事務局) これまでの4回の本委員会の中で委員の皆さんから学校司書の拡充に対するご意見、ご要望をいただいたことについては、事務局としても十分認識している。財政上の理由から学校司書の「拡充」という言葉を次期計画に盛り込むことはできなかったが、本委員会の皆さんと教育委員会が目指す方向は一致していると感じている。委員の皆さんの思いを精一杯盛り込んだ結果としての次期計画であることをご理解いただきたい。

(委員長) 次期計画を実施する中で、学校司書の「拡充」の実績が残せるよう、お願いしたい。

(委員) それでなくても忙しい学校の先生方が学校司書の役割も兼ねているのは、あまりにも無理がある。

(事務局) 教員が多忙な業務の中、学校図書館ボランティアと協力しながら学校図書館の運営に当たっていることは認識している。教員への負担等も加味し、トータルとして

考えていきたい。

(委員長) 子どもたちに学校図書館で「調べなさい」と指示しても、調べ方がわからない、本の選び方がわからないといった実態もある。次期計画にある学校図書館の利活用を実現するためにも人材の充実ということも大切である。次にパブリック・コメントを踏まえての修正点の案については事務局で作成し、後日、委員長が代表して確認するというのでよいか。

(全委員異議なし)

(委員長) それでは第4次横須賀市子ども読書活動推進計画(案)をもって本委員会の案として教育委員会定例会に報告することとします。

(3) その他

(事務局) 次期計画決定に向けての流れについて改めて説明させていただく。ご審議いただいたパブリック・コメント手続の実施結果については、決定次第、市のホームページに掲載させていただく。また、市政情報コーナー等でも配布をする。また、計画案については、教育委員会に答申し、教育委員会定例会で決定する予定である。また、市議会の教育福祉常任委員会でも報告をする予定である。その後、決定した計画を市のホームページ等で公開し周知を図るとともに、計画書を関係各所に配布する予定である。本日の会議録については、作成でき次第委員に配布し確認をしていただく予定である。

(委員長) 本日予定していた議事はすべて終了した。最後に委員の皆さんから一言ずつ挨拶をいただいて終了とする。

(出席委員の挨拶) (略)

(閉会)